

動物園から発信するSDGs起点のまなび共創プロジェクト	取組開始時期	2020年8月	取組の カテゴリ	教育・研究
-----------------------------	---------------	---------	---------------------------	-------

1. 団体名	コミュニカール株式会社	2. 連携先の団体	横浜市立金沢動物園
---------------	-------------	------------------	-----------

3. 取組目的	SDGs達成に向けた「動物」をテーマにしたESDの普及と実践 ～ エシカル消費の喚起 と エコ・ツーリズムの振興を目指して～	4. 関連するゴール	
----------------	---	-------------------	---

5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）



世界を「SDGs×動物」の視点で、扉を開けるようにのぞいてみよう。

自分の環世界（*umwelt）を味わい、他者の環世界（umwelt）も自由に旅する力を磨こう。

*環世界（umwelt -ウンベルト-）：ドイツの生物学者であるユクスキュル氏（1864～1944）提唱。“すべての生物は各々の「感覚」の範囲で、「知覚」をベースに、各々の世界観をつくっている”という考え方。

【取組内容の詳細】

WONDER DOORS「地球のマングラ★ワンダー」シリーズとして、動物園の協力をいただきながら SDGs起点のまなびのコミュニケーションをデザイン・プロデュース。最初の取組として、シロテテナガザルをテーマにオンラインイベントを企画実施。

【取組によって期待される成果】

- 1 生物多様性から、多様な視点・多角的な考え方を修養する
- 2 動物の進化から、イノベーション思考に繋げるヒントを得る
- 3 絶滅危惧種の動物問題や環境問題・気候危機は最大のリスクとの観点から、エシカル消費のアクションを喚起

【今後の取組の方向性】

- ・動物園・水族館を起点とする近隣地域の観光PRにとどまらず、特に日本の野生固有種をコンテンツとする場合は、動物園でのSDGs起点のまなび体験から野生動物が暮らす地域や国立自然公園へのエコツーリズムに繋げていきたい。
- ・サルについては「サル特集」として、シリーズでコンテンツ化していきたい。

取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

- ・オンラインイベントで動物園の「地の利」の魅力のご紹介を掛け合わせて伝えることでユーザーの来園動機を高め、来園者にリアルな動物を観察いただくことでSDGsのまなびを深めていけるような仕掛けを心がけた
- ・日本の野生固有種を取り上げる際は、動物園からエコツーリズムの流れを創出したい

ステークホルダーとの連携

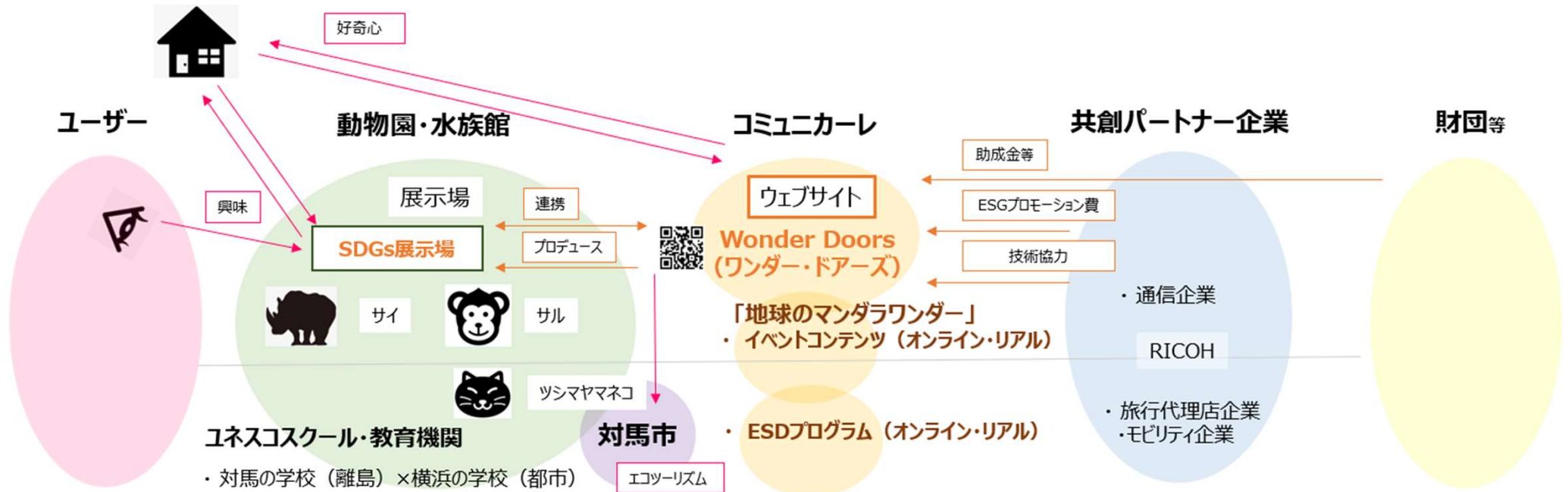
- ・動物園：フィールドの提供とスタッフの皆様のご知見・暗黙知の共有
- ・(株)リコー：リコーのSDGs取り組みとの連携、リコーのコミュニケーションツールの活用
- ・専門家：ナレッジの共有（国立環境研究所/京都大学野生生物研究センター/京都大学霊長類研究所/WWF/企業等）

モデル性・波及性

- まず金沢動物園との「シロテテナガザル」を成功させ、下記コンテンツ共創に繋げていきたい。
- ・金沢動物園：サイ
 - ・ツシマヤマネコ（対馬市・立教大学ESD研究所の協力を得て、企画提案予定）
 - ・京都市動物園：ゴリラ・ゾウ・グレービーシマウマ・イシモチタナゴ

自由記述欄

【ステークホルダーとの連携体制図】



<p>シロテナガザル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都大学野生動物研究センター 田中正之氏 ・ 京都大学霊長類研究所 打越万喜子氏 	<p>共創ナレッジパートナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立環境研究所 横島徳太氏 ・ 京都大学経営管理大学院客員教授 竹林一氏 ・ WWF（世界自然保護基金） 	<p>ツシヤママネコ（企画中）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [対馬グローバル大学 教育ゼミ 立教大学ESD研究所 阿部治教授
---	--	---

【2030年までに目指すべきゴールイメージやありたい姿】

- ・ 動物園・水族館、民間企業、日本の野生固有種が暮らす地域の皆様、専門家の皆様と一緒に、「SDGs×動物」起点のまなびのコンテンツを10年間にわたって共創することによって、各動物園の「個性的な魅力」や「地の利」を活かしたESDのテーマパークを実現している。
- ・ 動物園・水族館を起点に、日本の野生固有種が暮らす地域や国立自然公園へとエコツーリズムの人の流れを共創している。
- ・ ユーザーの好奇心をドライブし、目の前の動物から世界へ、SDGsへと広げ、エコツーリズムやエシカル消費のアクションにつなげていく。横浜から全国や世界に広げていく。

【連携団体・横浜市立金沢動物園からのコメント】

地球環境の構成員である野生動物を飼育展示する動物園は、地域のレクリエーション、教育の拠点としての機能も果たしています。「誰一人取り残さない」というSDGsの理念は、ヒトだけでなく、動物や植物を含めた地球上のあらゆる生き物に及ぶものだと考えます。持続可能な社会に向けて、地域とともに動物園としても取り組んでいきます。

【取組に関連するホームページのURL】

WONDER DOORSランドページ：<http://wonder-doors.com/lp/>